

2021年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書（最終）

非公開希望	項目	内容
	所 属	国際社会科学部／ 研究科 国際社会科学科／専攻 3年（留学年次） 4年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 University of Edinburgh, College of Arts, Humanities and Social Sciences
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2021年 9月 20日 ～ 2022年 5月 27日 出国日 2021年 8月 31日 最終帰国日 2022年 5月 22日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

（1）留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

全体的に見て、良い留学だったなと思いました。目標にしていたことや、やりたいと考えていたことができたためです。意識の変化としては日本のようにサービスが充実しているわけではないので何かトラブルがあったときに自分から行動を起こしたり、他人に自分から話しかけられるようになりました。例えば、自分は12月末に3回目のワクチン接種をイギリスでしたのですが、どれだけ待ってもワクチン接種証明書が発行されませんでした。自分で何度もNHSに連絡をして、なんとか2月頃にもらうことができました。このように、ただ英語力を伸ばす、専門科目を英語で話せるようになる、といった学業的な目標だけでなく事務的なことも自分1人でできるようになったのは大きい変化だなと思います。

（2）留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

特にないです。強いて言えばエディンバラ大学は休みが多かったり、授業数が少なく自由時間が多いので留学中に旅行に行きたい場所とか調べておくといいと思います。

2. 留学先大学について

（1）留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

【授業】

学生がしっかりと予習をしている前提で進む授業が多かったです。例えば、International Marketing の授業では授業の前に1時間半ほど授業の動画を見て教科書や参考テキストを読ん でくることが必須でした。前期に取っていた International Business 以外は授業時間中に先生が 講義をするのではなく、学生間での話し合いが多い授業ばかりでした。また、学習院のよう に1つの授業が週に1回あるのではなく、lecture・tutorial・Q&A session など1つの科目の中 に2-3 つほど授業があるのが印象的でした。2021/2022 年の段階で対面授業の方が多い印象 でした。

【教授】

全員すごくフランクで優しい方ばかりでした。分からない場所を授業後に聞きに行ったり するとしっかりと答えてくれます。また、メールの返信も早くサポートが充実していました。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

本当に満足していました！街全体が大学、という感じでした。授業によっては家から遠い 建物に行かなきゃいけない場合もありましたが、街全体に大学の建物があったことから自習 場所を選べたりします。また、グループプロジェクト用に部屋を借りられるのも良いところ でした。Main Library は24時間365日空いています。3階の端には個室が設けられていて、 予約必須ですが集中できるためおすすめです。ほぼ全エリアに大学のカフェがあるのでご飯 にも困らないです。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講さ れているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等につ いて書いてください。

1回1-2時間ほどで無料開講されています。単位には入りませんが、EL SIS が開講してい る4週間限定のコースに参加できます。この授業も他の授業同様、クラスの前に動画を見 てワークをしてからの参加になるので負担は大きかったです。そのためになりました。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

利用したことはないですが、「何かあったらここに連絡してね」というメールは来ていま した。留学生向けのイベントは、大学全体で開かれているものは少なかった気がします。 International Students Tour と Facebook 上で調べればスコットランドのバスツアーをしてい る会社(?)が出てきます。ネス湖やハイランドのお城、ハリーポッターのロケ地など自分で 行くには少し大変なところにも連れて行ってくれます。また、寮でもイベントが多くあり ました。エディンバラ散策、ワークショップ、ボーリング、common room でのピザパーテ ィーなど様々でした。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

日本から奨学金を頂いていたため、現地ではもらっていませんでした。資金面で言えば、 イギリスでは週20時間までアルバイトができるのでオススメです。また、休みの際は週 40時間まで働けます。週20時間働いて大体月£800ぐらいもらっていました。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

平和です。日本より少し気を付ける、ぐらいで大丈夫だと思います。たまにアジアンヘイトに合いましたが、本当にまれです。上記に記載したように街全体が大学になっているため、歩いている人のほとんどが大学生です。ただ、「真夜中の Meadows(大学近くの公園の名前)は通るな」という噂(?)はありました。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

Society という日本でのサークルが多くあり、同じ趣味を持った人と関われます。大学内にパブやクラブ、バー、カフェなど様々な施設があったのが印象的でした。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
International Business: Globalisation and Trade 2A	
English for International Business Communication	
Foundation Spanish Language 1	
Business Simulation	
International Marketing	
Foundation Spanish Language 2	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 / アパート / ホームステイ / その他 ()

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 £ 405、(日本円) 約 6 万円

(3) 食事

食事付き (朝・昼・夕) / 自炊 / その他 ()

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 / 自転車 / バス / 地下鉄 / その他 ()、計 10 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

【感想】

エディンバラ大学が提供する一人部屋の寮で 2 番目に安い寮でした。料金的にすごく不安でしたが、想像したよりも綺麗で広い部屋でした。IH が 4 つ、オーブン、電子レンジ、ケトル、グリルが付いていました。

【良い点】 立地・綺麗

【悪い点】Wi-Fi と電波の弱さ

図書館や教室の多い George Square から徒歩 10 分弱、徒歩 2 分の場所にスーパーや街の中心部に行くバス停があり、立地は良かったです。街の中心部と比較して夜も割と静かなのが良い点でした。ただなぜか Wi-Fi と電波が弱いのです。ルーターを自分で買ったり、電話するときは窓側じゃないと通じませんでした。

自分自身料理できないので自炊に不安を抱いていましたが、全然大丈夫でした。そのため、「料理できないから自炊寮迷ってる」という人には安心して選んでもらいたいです。一度 Pollock Halls というご飯が出る寮にご飯を食べに行った時、「食べたいものを食べたいときに食べられない」「美味しくない」という 2 点から自炊がいいな…と思ったためです。あと Pollock ではお昼ごはんが出ず、holiday の間にご飯が出ないのにキッチン用品がないという話も聞きました。

4. 費用について

(1) 学 費：協定留学のため不明

(現地通貨) 約 、(日本円) 約 円

(2) 渡航方法と金額

飛行機／船舶／その他 ()、(日本円) 約 10 万円

(3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約 £ 1000、(日本円) 約 15 万円

※ 宿舍費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

国際キャッシュカード／クレジットカード／国際ブランドプリペイドカード
／現金／その他 (HSBC デビットカード)

⇒ その方法についての感想、良かった点・悪かった点

カード作るまで時間がかかると思ったため、10 万円分ポンドで持っていきました。到着してから HSBC という銀行で Bank Account for International Student と調べたら出てきます。他の銀行では交換留学生はカードを作れませんが、HSBC では作れました！

イギリスではコンタクトレスのカードがないと生活が大変です。バスに乗れなかったり、たまに現金 NG な場所もあります。逆に現金のみな場所はクリスマスマーケットぐらいでした。

【良かった点】

友人との割り勘が簡単・円安円高に影響されない

【悪かった点】

カードが来るまでの 1 ヶ月、現金のみの生活が大変だった。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳 頂いてないです。

5. 保険について

(1) 保険会社名

東京海上日動火災保険(大学から紹介されたものです)

(2) 保険料

7万8,660円

(3) 加入した保険の種類、内容

Eプラン。傷害死亡や治療費用に合わせて飛行機に乗ったときの手荷物遅延もついていました。

(4) 感想、良かった点・悪かった点

利用しなかったのが特にないです。保険料は高いな、と思いましたが他社と比較したら一番安価でした。何かあった際は日本の方と話せる安心感は大きかったです。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物／船便／SAL便／航空便／海外宅配便／その他（ ）

(2) 持って行って良かったと思う物

- ・パスタソース
- ・ふりかけ等ご飯の上にかけるもの
- ・フード付きダウン(天気予報になくても雨が降るため)
- ・ノイズキャンセリングイヤホン(真夜中に近くでパーティーが始まったときに大活躍でした)

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

- ・加湿系のグッズ
- ・超極暖ヒートテック
- ・カイロ
- ・ヒールの靴

→冬は風が強いだけで気温は日本の方が低いです。基本雨なので湿度は高めでした。街は石のタイルが多いのでヒールだと危ないです。パーティー用に1足あれば十分だと思います。

(4) 持って行けば良かったと思う物

- ・日本のお菓子

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

朝就活して、授業の後にジム、図書館、バイト、societyのいずれかに行っていました。

(2) 週末

土曜日か日曜日にバイトが10時間入るので1日はそれで潰れていました。課題が多い日は図書館に行った後ジム、何も無い日はスコットランド内の日帰り旅行をしていました。

8. 後輩へのアドバイス等

留学は準備段階から帰国して家に帰るまで常にストレスと隣り合わせでした。当たり前ですが自分で全てやらなければいけないので人間として強くなれた感じがします。もし迷っているなら思い切って挑戦してみてください。その時はエディンバラ大学を強くおすすめし

ます！

もし留学に行く際は自分から行動する意識と留学の目的を忘れないように過ごした方がいいと思います。起きた出来事を日記に書くこともおすすめです。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。

もし何か質問やお手伝いできることがあれば何でもお答えします！遠慮なくメールなどしてもらえると嬉しいです！